



園だより

令和2年7月発行

合志こども園 園長 松岡 貴子

1学期、ご協力頂きありがとうございました。

今学期は、これまで経験したことのない状況からスタートし、生活様式もこれまでと同じ様に過ごしてはいけない環境となりました。この状況を過ごしにくいと捉えるのではなく、「より丁寧に、行動の意味を明確にして過ごす」と考えると子ども達も丁寧に手洗いに取り組んだり、エチケットマナーに気を配ったり、子ども達なりに過ごしていました。

これからも様々な行動をする時には「なぜそうするのか。なぜそうすると良いのか」方法や手段を子ども達と共に考え、取り組んでまいります。

ご家庭でも、話し合いや確認することで「より良い方法」をみつけ過ごしていけるように取り組みましょう。



<笹飾りに願いを込めて>

少し落ち着き始めてきたと感じる日々が、また脅かされ始めています。県をまたぐ規制が緩和され全国に感染報告が増えています。市外だから大丈夫ということではなく、今取るべき行動をもう一度確認し、一人一人が意識すべき時だと思えます。子ども達にとって、一日中マスクをつけて生活することは大人よりも負担が大きく、多年齢の子ども達が過ごす園生活でもなかなか徹底することが出来ません。しかし、保育園の機能も持つこども園として、もう一度初心に戻り【大切な命を守る為】「マスク着用」に取り組んでいかなければならないと痛感しております。着用において、保護者の皆様の声掛けやご協力が必要です。ご家庭でもお子様と話しあって頂きたいと思えます。現在本市に感染報告はありませんが、色々な職場での感染が起こっていることは、感染可能性があるかと深刻に捉えていくことが大切です。

先日卒園生がアルバムの受け取りに来園してくれました。ソーシャルディスタンス・換気対応をする中卒園児との時間を過ごしました。不安定なスタートを切った子ども達ですが、「国語が面白い」「体育を頑張っている」「勉強大変だけど頑張っている」等学校での様子を聞かせてくれました。今後も色々チャレンジし成長していく子ども達の姿を応援していきたいと思えます。最後に「このような状況の中、自分の命を守る行動をとってほしい」と話すと、子ども達から、【自分の命は自分で守る】と園で学んできたことを覚えていてくれており、これからも忘れず取り組んで欲しいと願いました。

色々な行動を起こす前に、考え・検討・判断することが最も大切です。日々の繰り返しの中でも、子ども達と共に取り組んでいます。分かっていることも声に出して確認したり、振り返ることが物事の捉え方を豊かにしていきます。仲間と共に取り組んでいけることも重要な力となります。2学期も笑顔が輝く日々を送れるよう、職員一同基礎基本を丁寧に取り組んでまいります。保護者の皆様、今度ともご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。



頭からかかっても平気だよ



「みてみて！おもしろいよ」



「水気持ち良い～」